

I 第36回健康学習研修会「行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得」

研修期間：2017年7月6日(木)～7日(金)

テーマ：元気・やる気生まれるコミュニケーション法とは

内容：① 住民が元気になるコミュニケーション～伝え上手、尋ね上手、返し上手～／② 住民の視点に立ったメタボリック症候群対策～継続的行動変容につながるコミュニケーション～／③ 集団対象の健康学習の基本 他

対象者：保健師、栄養士、医師

定員：30名

受講料：18,000円

申込期間：2017年4月3日(月)～6月6日(火)

II 第17回健康企画・評価研修会「住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法」

研修期間：2017年7月27日(木)～28日(金)

テーマ：これからの時代、保健事業に大切な企画力・評価力を習得

内容：① 健康事業企画の基本的考え方～まちづくりを目指した保健事業の企画法～／② 参加したくなる心の元気教室の企画法／③ 住民が参加したくなる広報の実践～パンフレット作成法が受診意識を変える～／④ 具体的事例検討 他

対象者：保健師、栄養士、担当者及び責任者(例：健康保健課長)

定員：30名

受講料：18,000円

申込期間：2017年4月3日(月)～6月27日(火)

III 第38回保健活動研修会「保健活動に生かす疫学・統計セミナー(学会発表・論文執筆まで)」

研修期間：2017年11月17日(金)～19日(日)

テーマ：近年では、保健活動に関する「情報発信」が様々な形で住民の健康増進につながっている。保健活動による

介入効果を科学的に検証し(評価)、改善点や次の課題等について適切にアウトプットすること(公表)は重要である。すなわち、「研究発表」というフォーマルなスタイルで活動内容を広く発信する必要がある。本研修会では、保健活動の具体的な企画立案だけでなく、活動内容の評価や検証の手法、さらには学会発表・論文執筆にいたるまでの一連の過程について学習する。

内容：① 調査研究を遂行するために必要な基礎知識(講義：疫学・統計の基礎、調査研究の実践等)／② 調査研究を実施するにあたっての現状把握(演習：文献検索や情報収集の手法の習得)／③ 政策の策定過程における研究成果の活用(特別講義)／④ 実際の研究計画の立案(グループワーク)／⑤ 実際のデータ処理・集計(演習：パソコンを用いた実習)

*「日本公衆衛生学会認定専門能力認定に関する規定」に基づき、認定された研修会です。1時間につき1ポイントが加算されます。

対象者：地域保健、職域保健、学校保健の現場で保健活動を実践する保健師、看護師、栄養士、医師等／今後、保健活動において研究を行う予定がある者

定員：30名

受講料：25,000円

申込期間：2017年4月3日(月)～10月17日(火)

※ I～III共通

開催場所：自治医科大学地域医療情報研修センター(自治医科大学構内施設)

申込方法：専用の受講申込書に漏れなくご記入のうえ「郵送」にて申し込みください。受講申込書は当財団ホームページからダウンロードできます。

申込み・詳細問合せ先：〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160(公財)地域社会振興財団事務局研修課
TEL 0285-58-7436 FAX 0285-44-7839
e-mail fdc@jichi.ac.jp
URL <http://www.zcssz.or.jp/>